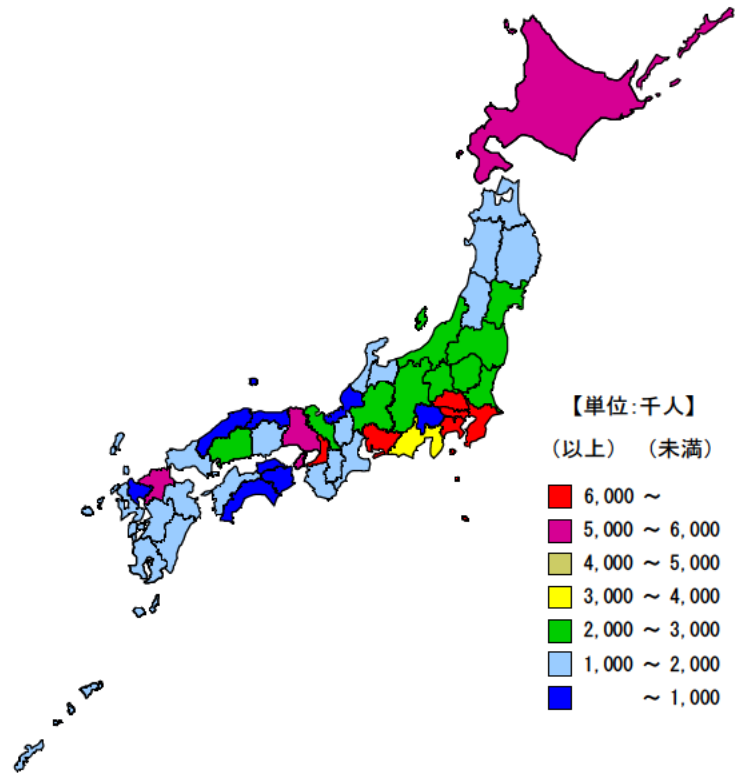


単位：千人

都道府県	平成22年	順位
東京都	13,159	1
神奈川県	9,048	2
大阪府	8,865	3
愛知県	7,411	4
埼玉県	7,195	5
千葉県	6,216	6
兵庫県	5,588	7
北海道	5,506	8
福岡県	5,072	9
静岡県	3,765	10
茨城県	2,970	11
広島県	2,861	12
東京都	2,636	13
新潟県	2,374	14
宮城県	2,348	15
長崎県	2,152	16
岐阜県	2,081	17
福井県	2,029	18
群馬県	2,008	19
栃木県	2,008	20
岡山県	1,945	21
三重県	1,855	22
熊本県	1,817	23
鹿児島県	1,706	24
山口県	1,451	25
愛媛県	1,431	26
長崎県	1,427	27
滋賀県	1,411	28
奈良県	1,401	29
沖縄県	1,393	30
青森県	1,373	31
岩手県	1,330	32
大分県	1,197	33
石川県	1,170	34
山形県	1,169	35
宮崎県	1,135	36
富山県	1,093	37
秋田県	1,086	38
和歌山県	1,002	39
香川県	996	40
山梨県	863	41
佐賀県	850	42
福井県	806	43
徳島県	785	44
高知県	764	45
鳥取県	717	46
島根県	589	47
全国	128,057	

● 総人口



平成22年の三重県の総人口は1,855千人となっています。
 最も多いのは東京都で、次いで神奈川県、大阪府と続いています。

● グラフデータ

単位：千人

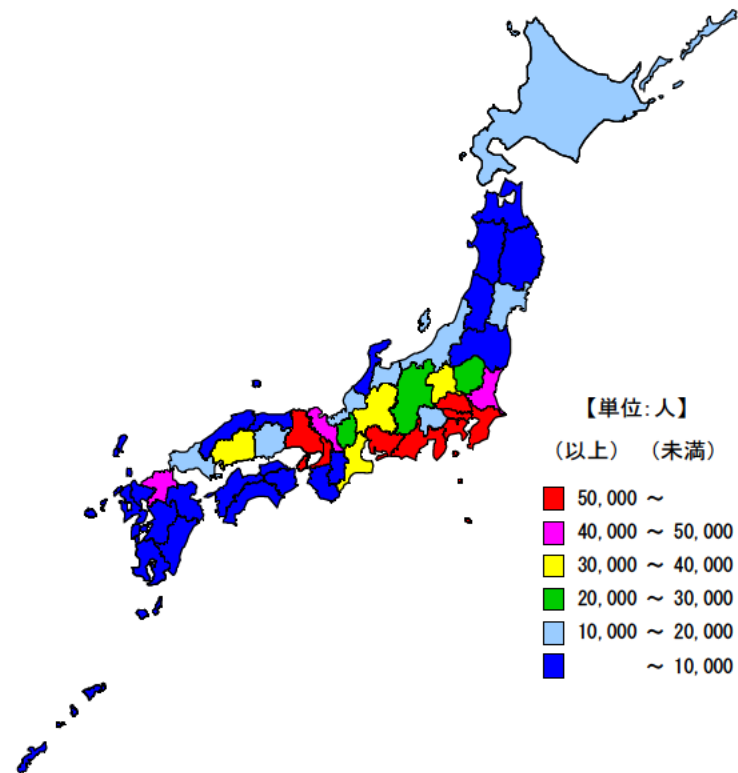
	東京	神奈川	三重	島根	鳥取
総人口	13,159	9,048	1,855	717	589

【資料出所】
 総務省統計局「国勢調査」
 【備考】
 調査期日 平成22年10月1日

単位：人

都道府県	平成22年	順位
東京都	318,829	1
大阪府	164,704	2
愛知県	160,228	3
神奈川県	125,686	4
埼玉県	88,734	5
兵庫県	79,040	6
千葉県	78,927	7
静岡県	61,610	8
京都府	41,855	9
茨城県	40,477	10
福岡県	40,317	11
岐阜県	36,879	12
群馬県	35,458	13
三重県	32,825	14
広島県	31,882	15
長野県	29,841	16
栃木県	26,429	17
滋賀県	21,537	18
岡山県	18,476	19
北海道	18,280	20
山梨県	12,484	21
宮城県	12,367	22
山口県	12,292	23
新潟県	11,914	24
富山県	11,002	25
福井県	10,562	26
石川県	9,768	27
福島県	9,347	28
奈良県	9,255	29
大分県	8,841	30
愛媛県	7,828	31
沖縄県	7,651	32
熊本県	7,624	33
香川県	6,858	34
長崎県	6,498	35
山形県	6,158	36
鹿児島県	5,490	37
岩手県	5,184	38
和歌山県	4,837	39
島根県	4,779	40
徳島県	4,076	41
宮崎県	3,802	42
青森県	3,688	43
鳥取県	3,596	44
佐賀県	3,594	45
秋田県	3,356	46
高知県	3,172	47
全 国	1,648,037	

● 外国人人口



平成22年の三重県の外国人人口は32,825人（全国は1,648,037人）となっています。

大都市圏や工業が盛んな都道府県に多くの外国人が居住しています。

● グラフデータ

単位：人

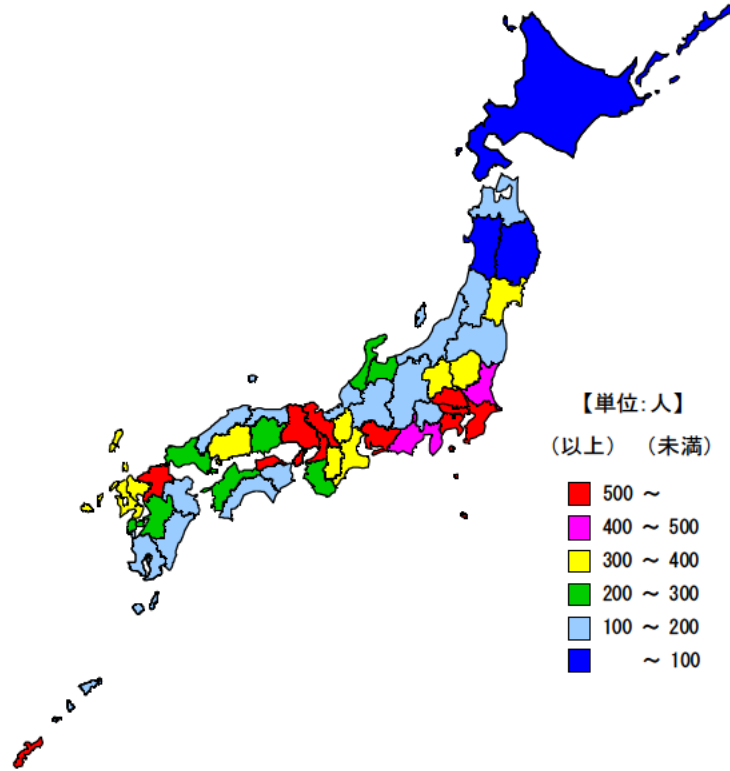
	東京	大阪	三重	秋田	高知
外国人人口	318,829	164,704	32,825	3,356	3,172

【資料出所】
総務省統計局「国勢調査」

【備考】
調査期日 平成22年10月1日

単位：人

都道府県	平成22年	順位
東京都	6,015.7	1
大阪府	4,669.7	2
神奈川県	3,745.4	3
埼玉県	1,894.2	4
愛知県	1,434.8	5
千葉県	1,205.5	6
福岡県	1,019.0	7
兵庫県	665.6	8
沖縄県	611.9	9
京都府	571.4	10
香川県	530.7	11
茨城県	487.2	12
静岡県	483.9	13
奈良県	379.5	14
滋賀県	351.2	15
佐賀県	348.3	16
長崎県	347.5	17
広島県	337.4	18
宮城県	322.3	19
三重県	321.0	20
群馬県	315.6	21
栃木県	313.3	22
石川県	279.5	23
岡山県	273.5	24
富山県	257.4	25
愛媛県	252.1	26
熊本県	245.4	27
山口県	237.4	28
和歌山県	212.0	29
岐阜県	195.9	30
山梨県	193.3	31
福井県	192.4	32
徳島県	189.4	33
新潟県	188.7	34
大分県	188.7	34
鹿児島県	185.7	36
鳥取県	167.8	37
長野県	158.7	38
福島県	147.2	39
宮崎県	146.7	40
青森県	142.4	41
山形県	125.4	42
高知県	107.6	43
島根県	107.0	44
秋田県	93.3	45
岩手県	87.1	46
北海道	70.2	47
全国	343.4	

● 人口密度（総面積1km²当たり）

平成22年の三重県の人口密度（総面積1km²当たり）は、321.0人（全国は343.4人）となっています。最も高いのは東京都で、次いで大阪府、神奈川県と続いています。

● グラフデータ

	東京	大阪	三重	岩手	北海道
人口密度 （総面積1km ² 当たり）	6,015.7	4,669.7	321.0	87.1	70.2

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」「人口推計」
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
（北方地域及び竹島を除く）

【算出方法】

人口総数÷総面積

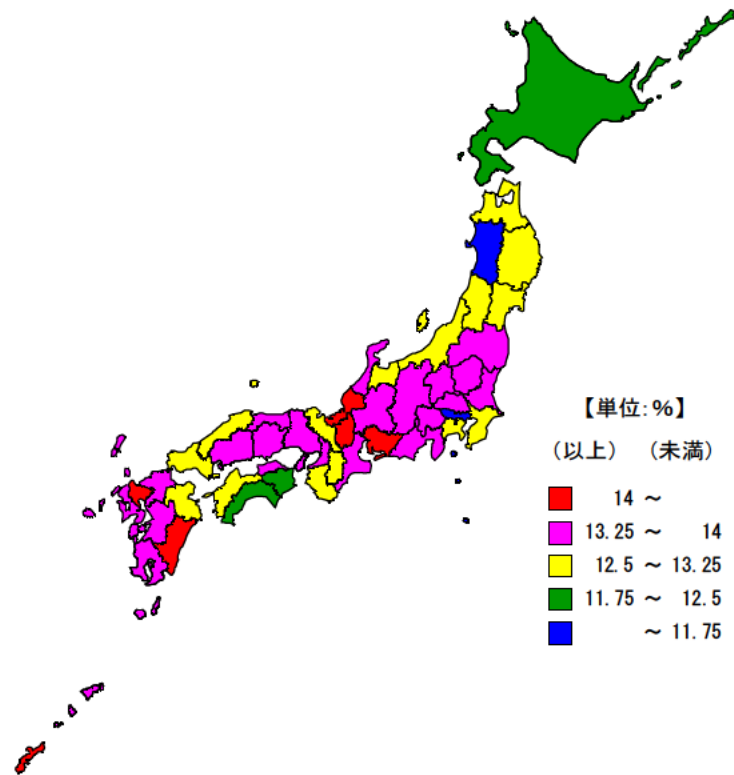
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：％

都道府県	平成22年	順位
沖縄	17.8	1
滋賀	15.1	2
佐賀	14.6	3
愛知	14.5	4
福岡	14.0	5
宮崎	14.0	6
岐阜	14.0	7
熊本	13.8	8
群馬	13.8	9
長野	13.8	10
三重	13.7	11
岡山	13.7	12
鹿児島	13.7	13
石川県	13.7	14
福島	13.7	15
広島	13.7	16
静岡県	13.7	17
兵庫県	13.7	18
長崎	13.6	19
福岡	13.6	20
栃木	13.6	21
茨城	13.5	22
山梨	13.4	23
香川県	13.4	24
鳥取	13.4	25
埼玉	13.3	26
大阪	13.3	27
宮城	13.2	28
奈良	13.2	29
神奈川県	13.2	30
大分	13.1	31
千葉	13.0	32
富山	13.0	33
愛媛	13.0	34
島根	12.9	35
京都	12.9	36
和歌山	12.9	37
山形	12.8	38
新潟	12.8	39
岩手	12.7	40
山口	12.7	41
青森	12.6	42
徳島	12.4	43
高知	12.2	44
北海道	12.0	45
秋田	11.4	46
東京	11.4	47
全 国	13.2	

● 年少人口割合（15歳未満人口）



平成22年の三重県の年少人口割合（15歳未満人口）は、13.7％（全国は13.2％）となっています。
都道府県別にみると、沖縄県が最も高く、次いで滋賀県、佐賀県となっています。
一方、東京都、秋田県が低い割合になっています。

● グラフデータ

単位：％

	沖縄	滋賀	三重	秋田	東京
年少人口割合 （15歳未満人口）	17.8	15.1	13.7	11.4	11.4

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

15歳未満人口÷人口総数×100

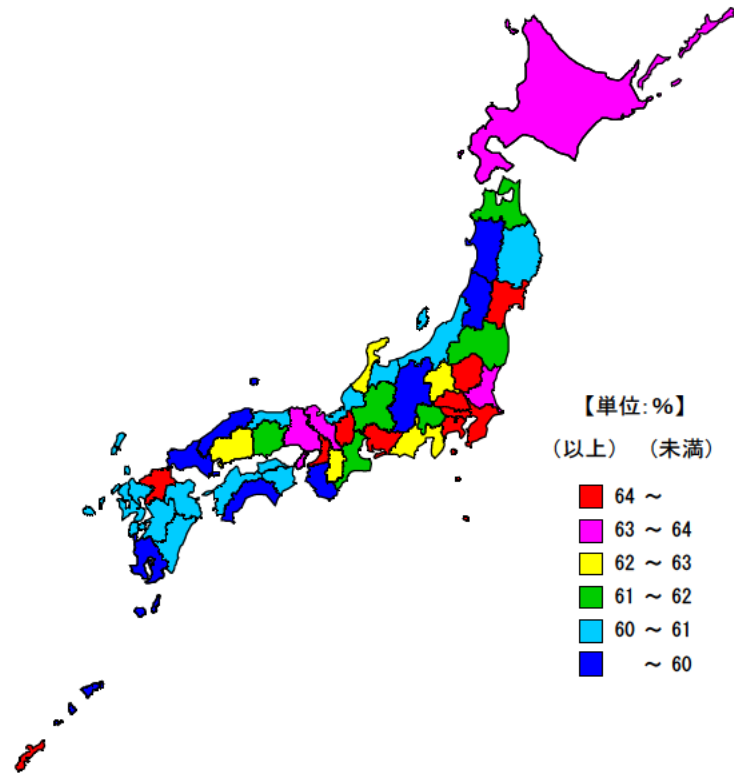
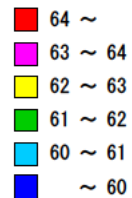
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：％

都道府県	平成22年	順位
東京都	68.2	1
神奈川県	66.6	2
埼玉県	66.3	3
千葉県	65.4	4
愛知県	65.2	5
沖縄県	64.8	6
宮城県	64.4	7
栃木県	64.4	8
大阪府	64.4	9
滋賀県	64.2	10
福岡県	64.1	11
茨城県	64.0	12
東京都	63.8	13
北海道	63.3	14
兵庫県	63.3	15
奈良県	62.8	16
群馬県	62.7	17
石川県	62.6	18
静岡県	62.5	19
広島県	62.4	20
三重県	62.0	21
山梨県	61.9	22
岐阜県	61.9	23
青森県	61.7	24
福島県	61.3	25
岡山県	61.1	26
新潟県	61.0	27
佐賀県	60.8	28
富山県	60.8	29
福井県	60.8	30
香川県	60.7	31
徳島県	60.6	32
熊本県	60.5	33
長崎県	60.4	34
愛媛県	60.4	35
鳥取県	60.3	36
大分県	60.3	37
宮崎県	60.2	38
岩手県	60.1	39
和歌山県	59.9	40
鹿児島県	59.8	41
長野県	59.7	42
山形県	59.6	43
山口県	59.3	44
高知県	59.0	45
秋田県	59.0	46
島根県	58.0	47
全国	63.8	

● 生産年齢人口割合（15～64歳人口）

【単位：％】
（以上）（未満）

平成22年の三重県の生産年齢人口割合（15～64歳人口）は、62.0％（全国は63.8％）となっています。都道府県別にみると、東京都が最も高く、次いで神奈川県、埼玉県となっています。また、島根県、秋田県が低い割合となっています。

● グラフデータ

単位：％

	東京	神奈川	三重	秋田	島根
生産年齢人口割合 （15～64歳人口）	68.2	66.6	62.0	59.0	58.0

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

 $15\sim64\text{歳人口} \div \text{人口総数} \times 100$

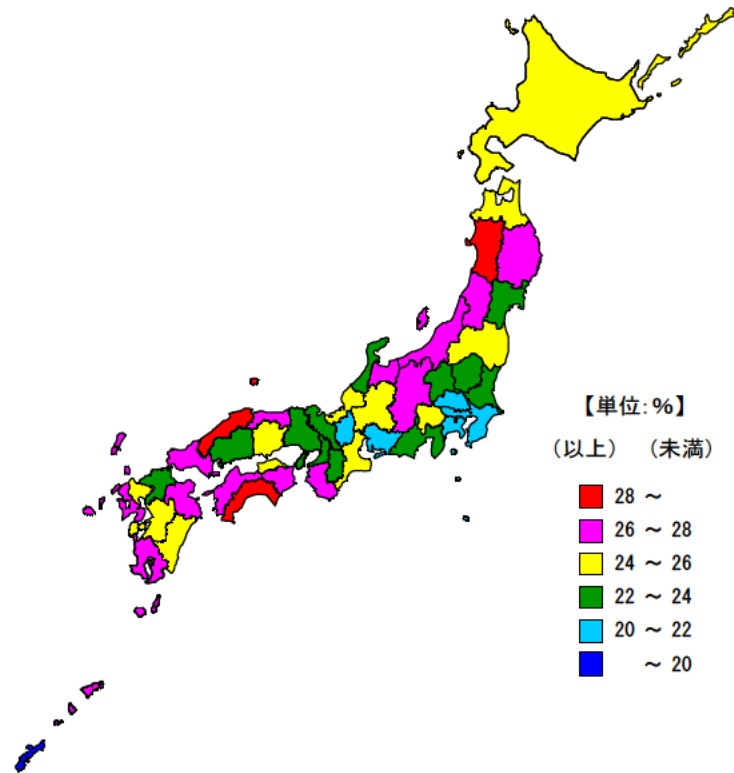
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：％

都道府県	平成22年	順位
秋田	29.6	1
島根	29.1	2
高知	28.8	3
山口	28.0	4
山形	27.6	5
和歌山	27.3	6
岩手	27.2	7
徳島	27.0	8
大分	26.6	9
愛媛	26.6	10
長野	26.5	11
鹿島	26.5	12
鳥取	26.3	13
新潟	26.3	14
富山	26.2	15
長崎	26.0	16
香川	25.8	17
青森	25.8	18
宮崎	25.8	19
熊本	25.6	20
福岡	25.2	21
岡山	25.1	22
福島	25.0	23
北海道	24.7	24
山梨	24.6	25
佐賀	24.6	26
三重	24.3	27
岐阜	24.1	28
奈良	24.0	29
広島	23.9	30
静岡	23.8	31
石川	23.7	32
群馬	23.6	33
京都	23.4	34
兵庫	23.1	35
茨城	22.5	36
大阪	22.4	37
大宮	22.3	38
福岡	22.3	39
栃木	22.0	40
千葉	21.5	41
滋賀	20.7	42
埼玉	20.4	43
東京	20.4	44
愛知	20.3	45
神奈川	20.2	46
沖縄	17.4	47
全 国	23.0	

● 老年人口割合（65歳以上人口）



平成22年の三重県の老年人口割合（65歳以上人口）は、24.3％（全国は23.0％）となっています。都道府県別にみると、秋田県、島根県が高い割合となっています。一方、沖縄県、神奈川県は低い割合となっています。

● グラフデータ

	秋田	島根	三重	神奈川	沖縄
老年人口割合 (65歳以上人口)	29.6	29.1	24.3	20.2	17.4

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

65歳以上人口÷人口総数×100

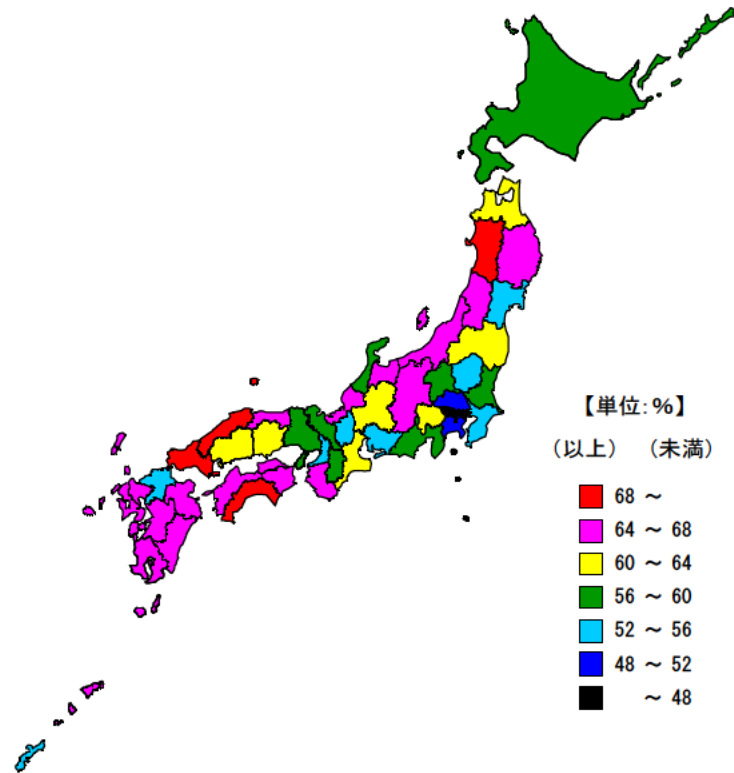
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：％

都道府県	平成22年	順位
島根	72.3	1
秋田	69.5	2
高知	69.5	3
山口	68.6	4
山形	67.9	5
長野	67.5	6
鹿嶋	67.2	7
和歌山	67.1	8
岩手	66.5	9
宮崎	66.1	10
大分	65.9	11
鳥取	65.8	12
愛媛	65.6	13
長崎	65.6	14
熊本	65.2	15
徳島	65.0	16
香川	64.6	17
福岡	64.5	18
富山	64.5	19
佐賀	64.4	20
新潟	64.0	21
岡山	63.6	22
福島	63.1	23
青森	62.2	24
岐阜	61.5	25
山梨	61.5	26
三重	61.3	27
広島	60.3	28
静岡	60.0	29
石川	59.9	30
群馬	59.6	31
奈良	59.2	32
兵庫	58.1	33
北海道	57.9	34
北京	56.8	35
茨城	56.3	36
福岡	56.0	37
滋賀	55.7	38
大塚	55.4	39
栃木	55.3	40
宮城	55.2	41
沖縄	54.2	42
愛知	53.4	43
千葉	52.9	44
埼玉	50.9	45
神奈川	50.2	46
東京	46.5	47
全 国	56.8	

● 従属人口指数



平成22年の三重県の従属人口指数は、61.3%（全国は56.8%）となっています。
島根県が最も高く、次いで秋田県、高知県となっています。

● グラフデータ

	島根	秋田	三重	神奈川	東京
従属人口指数	72.3	69.5	61.3	50.2	46.5

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

$$\frac{\text{年少人口(15歳未満人口)} + \text{老年人口(65歳以上人口)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳人口)} \times 100}$$

【備考】

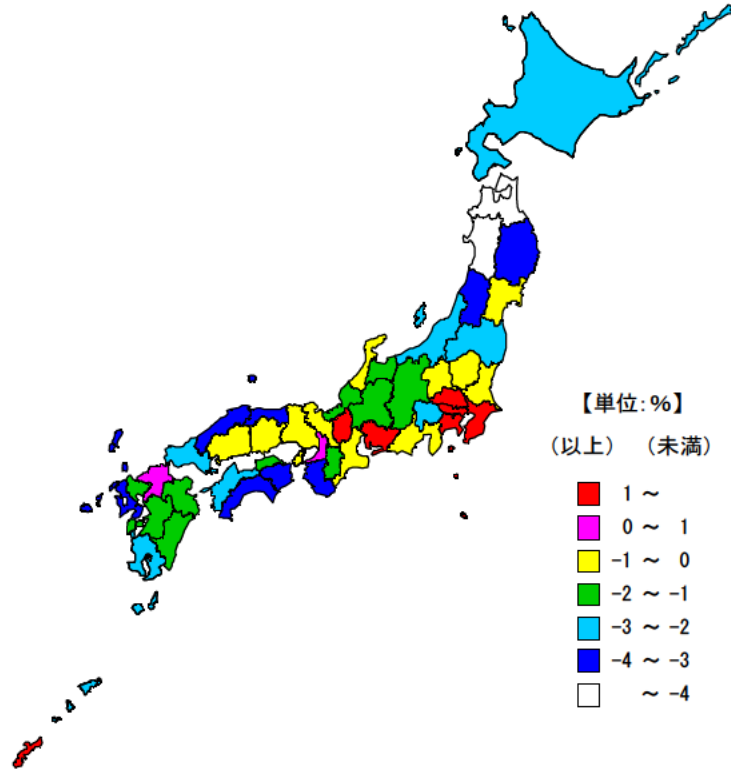
調査期日 平成22年10月1日

従属人口指数は、労働年齢層の負担を表す指標です。

単位：％

都道府県	平成22年	順位
東京都	4.6	1
神奈川県	2.9	2
千葉県	2.6	3
沖縄県	2.3	4
滋賀県	2.2	5
愛知県	2.2	6
埼玉県	2.0	7
大阪府	0.5	8
福岡県	0.4	9
兵庫県	△ 0.0	10
茨城県	△ 0.2	11
石川県	△ 0.4	12
東京都	△ 0.4	13
栃木県	△ 0.4	14
宮城県	△ 0.5	15
広島県	△ 0.6	16
岡山県	△ 0.6	17
三重県	△ 0.7	18
静岡県	△ 0.7	19
群馬県	△ 0.8	20
大分県	△ 1.1	21
岐阜県	△ 1.3	22
熊本県	△ 1.3	23
奈良県	△ 1.4	24
宮崎県	△ 1.5	25
香川県	△ 1.6	26
富山県	△ 1.7	27
福井県	△ 1.9	28
佐賀県	△ 1.9	29
長野県	△ 2.0	30
北海道	△ 2.2	31
新潟県	△ 2.3	32
山梨県	△ 2.4	33
愛媛県	△ 2.5	34
鹿児島県	△ 2.7	35
山口県	△ 2.8	36
福島県	△ 3.0	37
徳島県	△ 3.0	38
鳥取県	△ 3.0	39
和歌山県	△ 3.3	40
島根県	△ 3.3	41
長崎県	△ 3.5	42
山形県	△ 3.9	43
岩手県	△ 4.0	44
高知県	△ 4.0	45
青森県	△ 4.4	46
秋田県	△ 5.2	47
全国	0.2	

● 人口増減率

【単位：％】
(以上) (未満)

- 1～
- 0～1
- -1～0
- -2～-1
- -3～-2
- -4～-3
- ～-4

平成22年の三重県の人口増減率は、平成17年と比較して△0.7％（全国は0.2％増）となっています。
都道府県別にみると、東京都が最も高く、次いで神奈川県、千葉県となっています。
一方、秋田県、青森県等の東北地方の県は減少幅が大きくなっています。

● グラフデータ

単位：％

	東京	神奈川	三重	青森	秋田
人口増減率	4.6	2.9	△ 0.7	△ 4.4	△ 5.2

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

 $(\text{平成22年総人口} \div \text{平成17年総人口} - 1) \times 100$

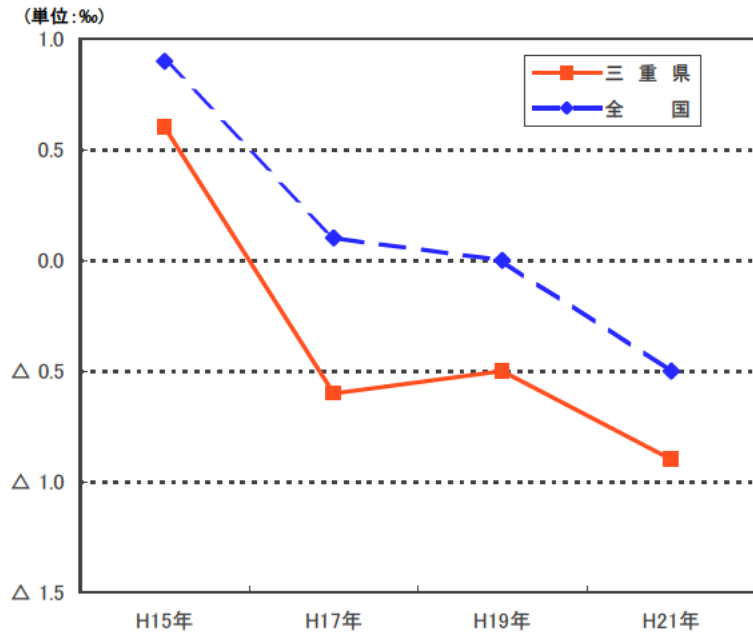
【備考】

調査期日 各年10月1日

単位：‰

都道府県	平成21年	順位
沖 縄	5.0	1
愛 知	2.1	2
神 奈 川	1.7	3
滋 賀	1.6	4
埼 玉	1.1	5
千 葉	0.9	6
東 京	0.8	7
福 岡	0.3	8
大 阪	0.2	9
兵 庫	△ 0.2	10
静 岡	△ 0.4	11
広 島	△ 0.4	11
宮 城	△ 0.7	13
栃 木	△ 0.7	13
京 都	△ 0.7	13
岐 阜	△ 0.9	16
三 重	△ 0.9	16
奈 良	△ 1.0	18
茨 城	△ 1.1	19
石 川	△ 1.1	19
群 馬	△ 1.2	21
福 井	△ 1.2	21
岡 山	△ 1.3	23
熊 本	△ 1.3	23
佐 賀	△ 1.5	25
宮 崎	△ 1.7	26
大 分	△ 2.1	27
山 梨	△ 2.2	28
長 野	△ 2.2	28
北 海 道	△ 2.3	30
香 川	△ 2.3	30
長 崎	△ 2.4	32
福 島	△ 2.6	33
鹿 島	△ 2.7	34
富 山	△ 2.8	35
鳥 取	△ 2.8	35
愛 媛	△ 2.9	37
新 潟	△ 3.0	38
徳 島	△ 3.5	39
山 口	△ 3.8	40
岩 手	△ 4.0	41
和 歌 山	△ 4.0	41
青 森	△ 4.2	43
山 形	△ 4.2	43
島 根	△ 4.5	45
高 知	△ 5.1	46
秋 田	△ 6.3	47
全 国	△ 0.5	

● 自然増減率



平成21年の三重県の自然増減率は、△0.9‰となっています。

都道府県別にみると、自然増加率が最も高いのは沖縄県で、次いで愛知県、神奈川県となっています。

● グラフデータ

単位：‰

	H15年	H17年	H19年	H21年
三 重 県	0.6	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.9
全 国	0.9	0.1	0.0	△ 0.5

【資料出所】

総務省統計局「人口推計」

【算出方法】

自然増減(前年10月～当年9月)÷前年10月1日現在総人口 × 1,000

自然増減 = 出生数 - 死亡者数

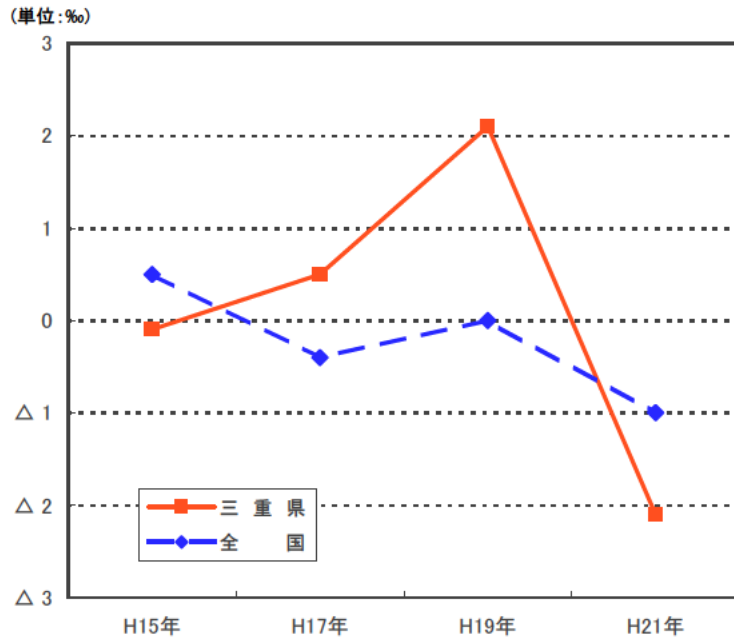
【備考】

‰は千分率

単位：‰

都道府県	平成21年	順位
千葉県	1.9	1
東京都	1.5	2
埼玉県	1.3	3
神奈川県	1.2	4
滋賀県	0.6	5
茨城県	△ 0.2	6
愛知県	△ 0.2	6
兵庫県	△ 0.4	8
福岡県	△ 0.5	9
沖縄県	△ 0.5	9
大阪府	△ 0.8	11
宮城県	△ 1.2	12
香川県	△ 1.2	12
群馬県	△ 1.4	14
石川県	△ 1.4	14
広島県	△ 1.6	16
静岡県	△ 1.7	17
栃木県	△ 1.9	18
京都府	△ 1.9	18
山口県	△ 1.9	18
三重県	△ 2.1	21
岡山県	△ 2.1	21
奈良県	△ 2.4	24
大分県	△ 2.4	24
宮崎県	△ 2.4	24
新潟県	△ 2.5	27
富山県	△ 2.6	28
愛媛県	△ 2.6	28
徳島県	△ 2.7	30
北海道	△ 2.8	31
熊本県	△ 2.8	31
佐賀県	△ 2.9	33
長野県	△ 3.0	34
和歌山県	△ 3.0	34
鹿児島県	△ 3.0	34
岐阜県	△ 3.2	37
福井県	△ 3.7	38
山形県	△ 3.9	39
高知県	△ 3.9	39
福井県	△ 4.5	41
岩手県	△ 4.7	42
秋田県	△ 4.8	43
島根県	△ 4.8	43
長崎県	△ 4.8	43
鳥取県	△ 4.9	46
青森県	△ 5.2	47
全国	△ 1.0	

● 社会増減率



平成21年の三重県の社会増減率は、△2.1‰（全国は△1.0‰）となっています。

都道府県別にみると、社会増加率が最も高いのは千葉県で、次いで東京都、埼玉県となっています。社会減少率が最も高いのは青森県となっています。

年次別の推移をみると、三重県は平成21年の減少率が全国よりも高くなっています。

● グラフデータ

単位：‰

	H15年	H17年	H19年	H21年
三重県	△ 0.1	0.5	2.1	△ 2.1
全国	0.5	△ 0.4	0.0	△ 1.0

【資料出所】

総務省統計局「人口推計」

【算出方法】

社会増減(前年10月～当年9月)÷前年10月1日現在総人口 × 1,000

社会増減=都道府県間転入超過数(都道府県間転入者数-都道府県間転出者数)+都道府県別入国超過数(都道府県別入国者数-都道府県別出国者数)

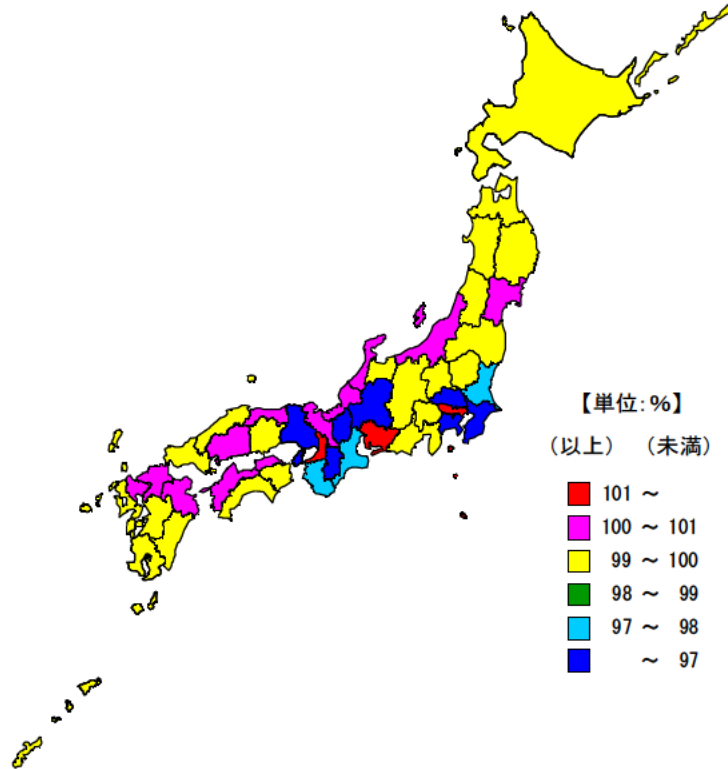
【備考】

‰は千分率

単位：％

都道府県	平成17年	順位
東京都	120.6	1
大阪府	105.5	2
愛知県	101.7	3
京都府	100.8	4
石川県	100.3	5
広島県	100.3	6
香川県	100.2	7
福岡県	100.2	8
鳥取県	100.2	9
愛媛県	100.1	10
新潟県	100.1	11
福井県	100.1	12
宮城県	100.1	13
大分県	100.1	14
佐賀県	100.0	15
宮崎県	100.0	16
沖縄県	100.0	17
北海道	100.0	18
鹿児島県	100.0	19
岡山県	99.9	20
山形県	99.9	21
青森県	99.9	22
秋田県	99.9	23
長野県	99.9	24
静岡県	99.9	25
群馬県	99.9	26
高知県	99.9	27
岩手県	99.7	28
富山県	99.7	29
長崎県	99.7	30
徳島県	99.7	31
福島県	99.7	32
熊本県	99.6	33
山口県	99.6	34
栃木県	99.4	35
山梨県	99.3	36
三重県	97.8	38
和歌山県	97.8	39
茨城県	97.0	40
滋賀県	96.2	41
岐阜県	95.9	42
兵庫県	95.1	43
神奈川県	90.3	44
奈良県	88.7	45
千葉県	88.5	46
埼玉県	87.5	47
全国	100.0	

● 昼夜間人口比率



【単位：％】
 (以上) (未満)
 ■ 101 ~
 ■ 100 ~ 101
 ■ 99 ~ 100
 ■ 98 ~ 99
 ■ 97 ~ 98
 ■ ~ 97

平成17年の三重県の昼夜間人口比率は、97.8%となっています。
 最も高いのは、東京都の120.6%、次いで大阪府、愛知県、京都府の順となっています。一方、最も低いのは埼玉県の87.5%となっています。

● 参考データ

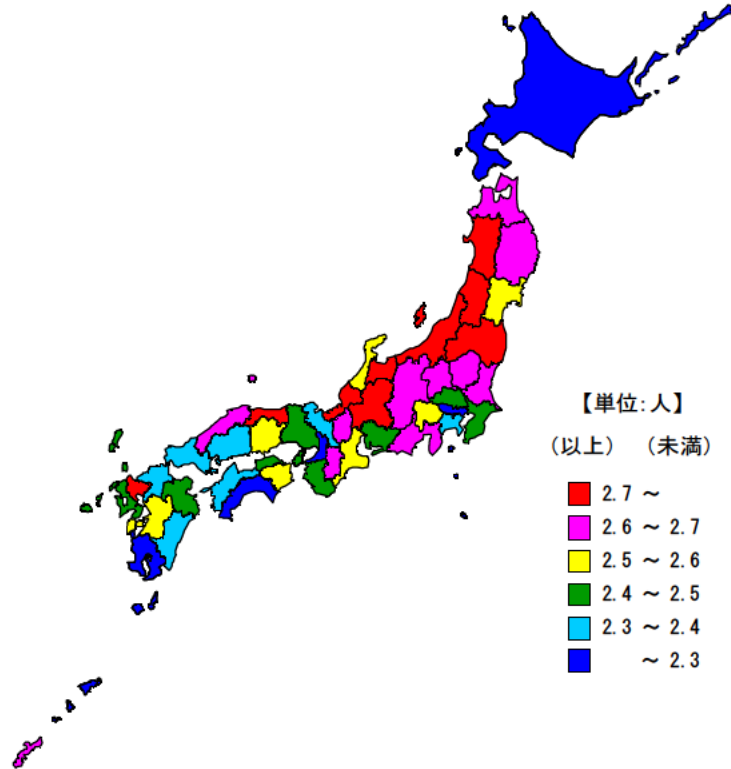
	単位：％				
	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年
三重県	97.3	97.1	97.1	97.6	97.8
東京都	118.4	123.1	124.2	122.0	120.6
埼玉県	87.2	84.9	84.8	86.4	87.5

【資料出所】
 総務省統計局「国勢調査」
 【算出方法】
 昼間人口÷夜間(常住)人口×100
 【備考】
 調査期日 各年10月1日
 昼間人口、夜間(常住)人口には年齢不詳を含まない。

単位：人

都道府県	平成22年	順位
山形	2.94	1
福井	2.86	2
佐賀	2.80	3
富山	2.79	4
岐阜	2.78	5
新潟	2.77	6
福島	2.76	7
秋田	2.71	8
鳥取	2.71	9
滋賀	2.69	10
岩手	2.69	11
茨城	2.68	12
長野	2.66	13
島根	2.66	14
栃木	2.65	15
静岡	2.65	16
奈良	2.63	17
沖縄	2.63	18
群馬	2.61	19
青森	2.61	20
三重	2.59	21
石川	2.58	22
山梨	2.58	23
熊本	2.57	24
宮城	2.56	25
岡山	2.52	26
徳島	2.52	27
埼玉	2.50	28
和歌山	2.50	29
愛知	2.49	30
香川	2.49	31
長崎	2.47	32
兵庫	2.44	33
千叶	2.44	34
大分	2.41	35
宮崎	2.40	36
愛媛	2.37	37
広島	2.36	38
山口	2.36	39
福岡	2.35	40
神奈川	2.33	41
京都	2.31	42
高知	2.30	43
大阪	2.28	44
鹿児島	2.27	45
北海道	2.21	46
東京都	2.03	47
全国	2.42	

● 一般世帯の平均人員



平成22年の三重県の一般世帯の平均人員は、2.59人となっています。

山形県が最も多く、次いで福井県、佐賀県となっています。

一方、東京都、北海道は少なくなっています。全般的に東日本の数値が高い傾向にあります。

● グラフデータ

	山形	福井	三重	北海道	東京
一般世帯の平均人員	2.94	2.86	2.59	2.21	2.03

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

一般世帯人員 ÷ 一般世帯数

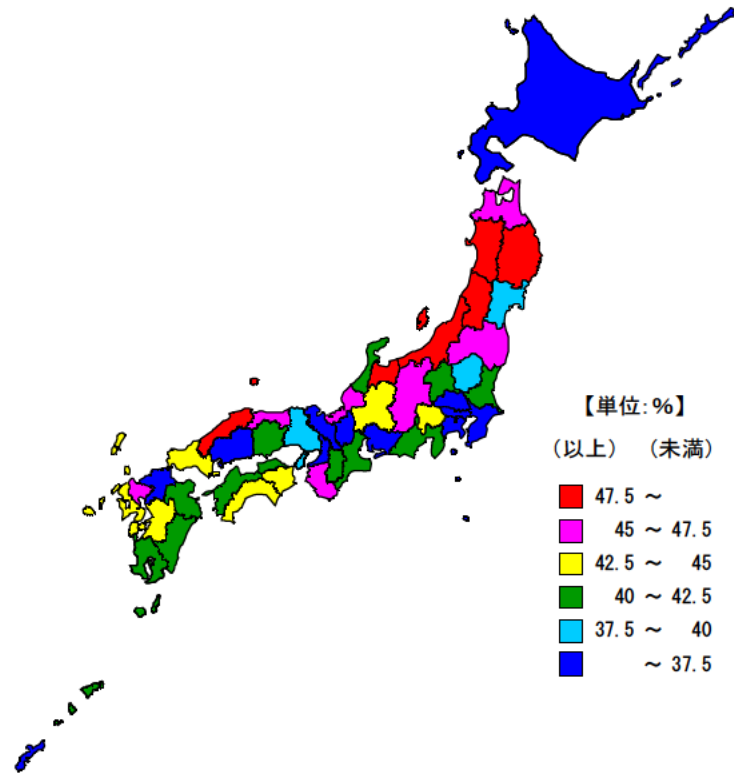
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：%

都道府県	平成22年	順位
秋田	53.11	1
山形	52.93	2
島根	50.45	3
岩手	48.14	4
富山	47.81	5
新潟	47.59	6
鳥取	46.84	7
福井	46.77	8
長野	46.30	9
和歌山	46.10	10
青森	45.75	11
福島	45.56	12
佐賀	45.46	13
岐阜	44.39	14
高知	44.37	15
徳島	44.32	16
山口	44.23	17
熊本	43.08	18
長崎	42.86	19
山梨	42.67	20
大分	42.42	21
愛媛	41.90	22
奈良	41.82	23
静岡	41.76	24
香川	41.69	25
三重	41.41	26
岡山	41.24	27
宮崎	41.00	28
群馬	40.62	29
鹿児島	40.48	30
石川	40.25	31
茨城	40.11	32
栃木	39.12	33
兵庫	38.23	34
宮城	37.88	35
広島	37.45	36
滋賀	36.77	37
北海道	36.58	38
東京都	36.16	39
福岡	35.23	40
大阪	35.19	41
千葉	34.85	42
埼玉	34.30	43
愛知	33.85	44
神奈川県	31.57	45
沖縄	30.59	46
東京都	28.79	47
全国	37.30	

● 65歳以上の世帯員がいる世帯割合



平成22年の三重県の65歳以上の世帯員がいる世帯割合は、41.41%となっています。

秋田県が最も高く、次いで山形県、島根県となっています。

一方、東京都、沖縄県は低くなっています。

● グラフデータ

単位：%

	秋田	山形	三重	沖縄	東京
65歳以上の世帯員が いる世帯割合	53.11	52.93	41.41	30.59	28.79

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

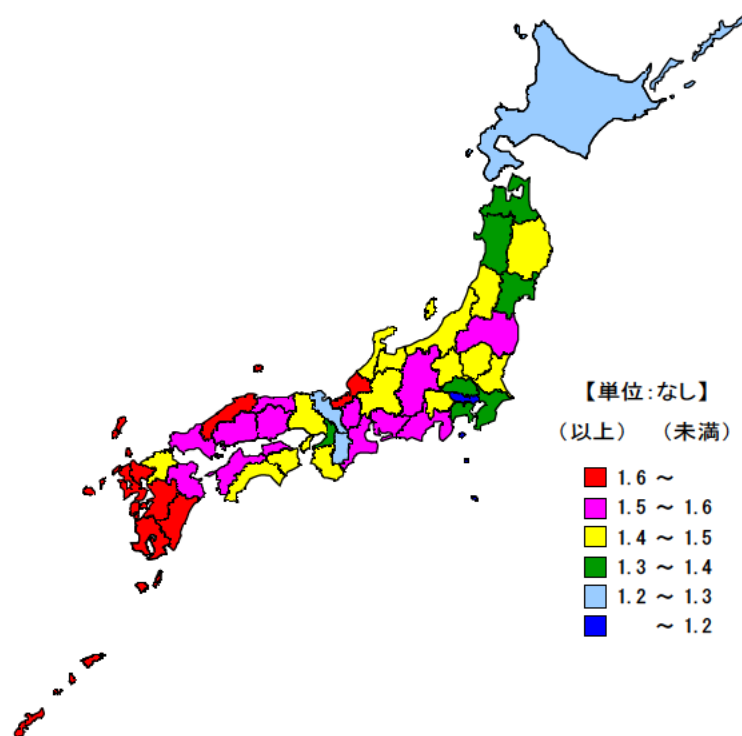
65歳以上の世帯員がいる世帯数÷一般世帯数

【備考】

調査期日 平成22年10月1日

都道府県	平成22年	順位
沖縄	1.87	1
島根	1.68	2
宮崎	1.68	2
熊本	1.62	4
鹿児島	1.62	4
福井	1.61	6
佐賀	1.61	6
長崎	1.61	6
香川	1.57	9
山口	1.56	10
大分	1.56	10
広島	1.55	12
静岡	1.54	13
滋賀	1.54	13
鳥取	1.54	13
長野	1.53	16
福島	1.52	17
愛知	1.52	17
三重	1.51	19
岡山	1.50	20
愛媛	1.50	20
山形	1.48	22
岐阜	1.48	22
和歌山	1.47	24
岩手	1.46	25
群馬	1.46	25
山梨	1.46	25
茨城	1.44	28
栃木	1.44	28
石川	1.44	28
福冈	1.44	28
新潟	1.43	32
富山	1.42	33
徳島	1.42	33
高知	1.42	33
兵库	1.41	36
青森	1.38	37
千葉	1.34	38
大阪	1.33	39
大崎	1.32	40
秋田	1.31	41
神奈川	1.31	41
奈良	1.30	43
宮城	1.29	44
京都	1.28	45
北海道	1.26	46
東京都	1.12	47
全国	1.39	

● 合計特殊出生率



【単位:なし】
(以上) (未満)



平成22年の三重県の合計特殊出生率は、1.51（全国は1.39）となっています。

都道府県別では、沖縄県が最も高く、次いで島根県、宮崎県となっています。

● グラフデータ

	沖縄	島根	三重	北海道	東京
合計特殊出生率	1.87	1.68	1.51	1.26	1.12

【資料出所】
厚生労働省「人口動態統計」

【備考】

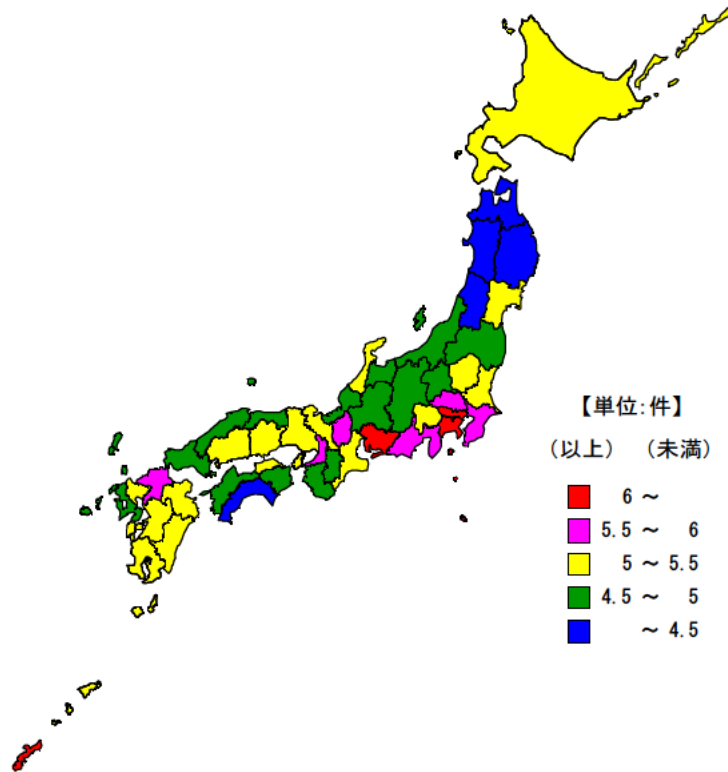
合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

人口を維持するためには2.07以上でなければならないとされている。

単位：件

都道府県	平成22年	順位
東京都	7.1	1
沖縄県	6.4	2
愛知県	6.2	3
神奈川県	6.1	4
大阪府	5.9	5
福岡県	5.8	6
千葉県	5.7	7
埼玉県	5.5	8
静岡県	5.5	8
滋賀県	5.5	8
栃木県	5.4	11
兵庫県	5.4	11
広島県	5.4	11
京都府	5.3	14
北海道	5.2	15
三重県	5.2	15
宮城県	5.2	15
宮崎県	5.1	18
茨城県	5.1	18
岡山県	5.1	18
大分県	5.1	18
鹿児島県	5.1	18
石川県	5.0	23
山梨県	5.0	23
香川県	5.0	23
佐賀県	5.0	23
熊本県	5.0	23
群馬県	4.9	28
長野県	4.9	28
岐阜県	4.9	28
愛媛県	4.9	28
和歌山県	4.8	32
鳥取県	4.8	32
山口県	4.8	32
福島県	4.7	35
新潟県	4.7	35
福井県	4.7	35
奈良県	4.7	35
長崎県	4.7	35
富山県	4.6	40
島根県	4.6	40
徳島県	4.6	40
山形県	4.4	43
高知県	4.4	43
青森県	4.3	45
岩手県	4.3	45
秋田県	4.0	47
全国	5.5	

● 婚姻率（人口千人当たり）



【単位：件】
 (以上) (未満)
 ■ 6 ~
 ■ 5.5 ~ 6
 ■ 5 ~ 5.5
 ■ 4.5 ~ 5
 ■ ~ 4.5

平成22年の三重県の婚姻率（人口千人当たり）は、5.2件（全国は5.5件）となっています。都道府県別では、東京都が最も高く、次いで沖縄県、愛知県となっています。

● グラフデータ

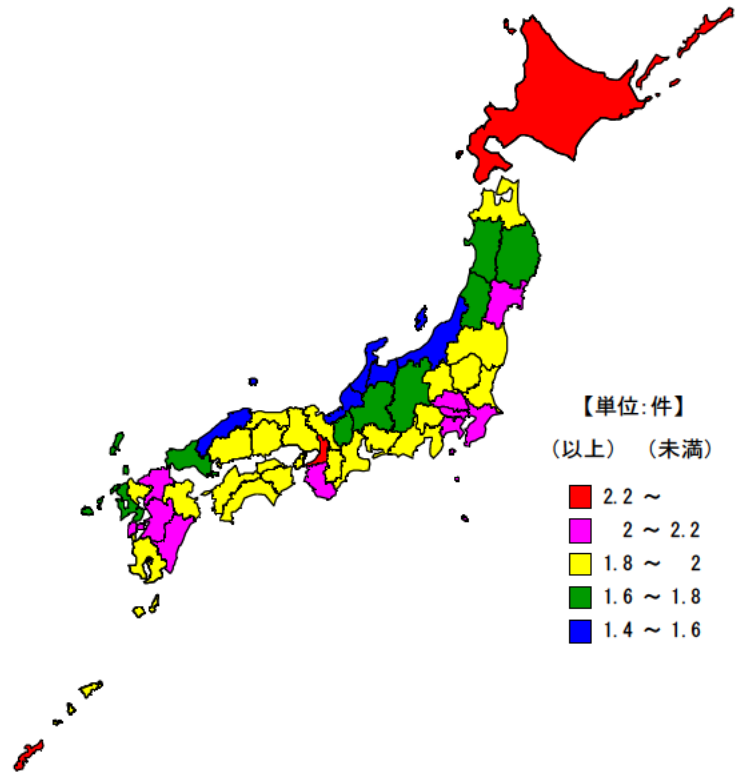
	東京	沖縄	三重	岩手	秋田
婚姻率 (人口千人当たり)	7.1	6.4	5.2	4.3	4.0

【資料出所】
 厚生労働省「人口動態統計」
 総務省統計局「人口推計」
 【算出方法】
 年間婚姻届出件数 ÷ 日本人人口 × 1,000
 【備考】
 調査期日 平成22年10月1日（件数は平成22年）

単位：件

都道府県	平成22年	順位
沖縄	2.58	1
大阪府	2.39	2
北海道	2.30	3
福岡県	2.18	4
宮崎県	2.13	5
和歌山県	2.08	6
東京都	2.05	7
埼玉県	2.02	8
千葉県	2.02	8
宮城県	2.00	10
神奈川県	2.00	10
熊本県	2.00	10
山梨県	1.99	13
栃木県	1.97	14
愛媛県	1.97	14
愛知県	1.97	14
青森県	1.96	17
福島県	1.96	17
群馬県	1.96	17
静岡県	1.96	17
鹿児島県	1.96	17
兵庫県	1.95	22
鳥取県	1.95	22
香川県	1.95	22
大分県	1.95	22
茨城県	1.94	26
広島県	1.94	26
高知県	1.92	28
京都府	1.91	29
三重県	1.90	30
岡山県	1.88	31
奈良県	1.87	32
徳島県	1.85	33
佐賀県	1.82	34
滋賀県	1.78	35
長崎県	1.77	36
岩手県	1.76	37
山口県	1.76	37
長野県	1.71	39
秋田県	1.66	40
岐阜県	1.66	40
山形県	1.62	42
石川県	1.57	43
島根県	1.56	44
福井県	1.55	45
新潟県	1.46	46
富山県	1.45	47
全国	1.99	

● 離婚率（人口千人あたり）



【単位：件】
 (以上) (未満)
 ■ 2.2 ~
 ■ 2 ~ 2.2
 ■ 1.8 ~ 2
 ■ 1.6 ~ 1.8
 ■ 1.4 ~ 1.6

平成22年の三重県の離婚率（人口千人あたり）は、1.90件（全国は1.99件）となっています。沖縄県が最も高く、次いで大阪府、北海道となっています。

● グラフデータ

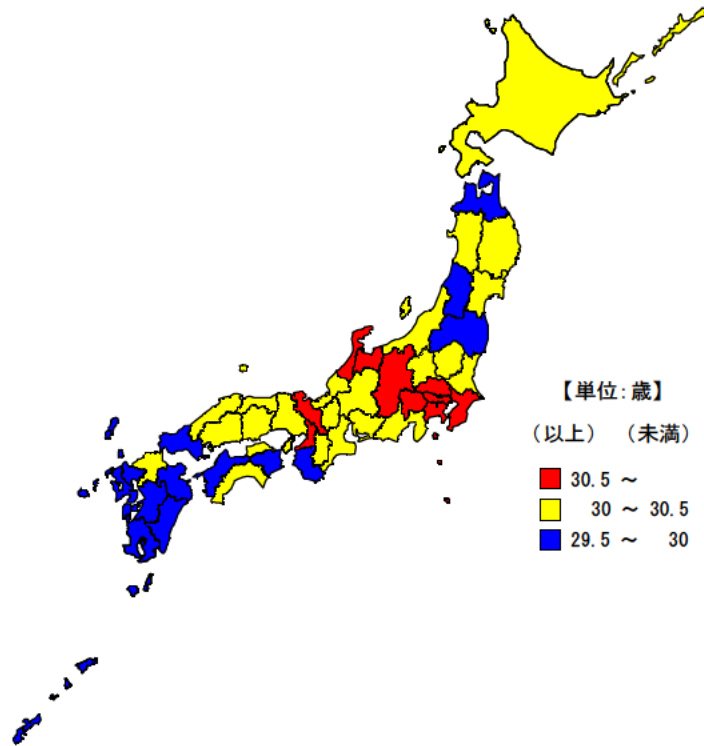
	沖縄	大阪	三重	新潟	富山
離婚率 (人口千人あたり)	2.58	2.39	1.90	1.46	1.45

【資料出所】
 厚生労働省「人口動態統計」
 総務省統計局「人口推計」
 【算出方法】
 年間離婚届出件数 ÷ 日本人人口 × 1,000
 【備考】
 調査期日 平成22年10月1日（件数は平成22年）

単位：歳

都道府県	平成22年	順位
東京都	31.8	1
神奈川県	31.3	2
千葉県	31.0	3
埼玉県	30.9	4
長野県	30.9	4
東京都	30.9	4
山梨県	30.8	7
富山県	30.6	8
石川県	30.5	9
大阪府	30.5	9
茨城県	30.4	11
栃木県	30.4	11
静岡県	30.4	11
奈良県	30.4	11
群馬県	30.3	15
新潟県	30.3	15
愛知県	30.3	15
兵庫県	30.3	15
高知県	30.3	15
福岡県	30.2	20
北海道	30.2	20
北海道	30.1	22
岩手県	30.1	22
宮城県	30.1	22
岐阜県	30.1	22
福井県	30.1	22
三重県	30.0	27
滋賀県	30.0	27
鳥取県	30.0	27
島根県	30.0	27
岡山県	30.0	27
広島県	30.0	27
香川県	30.0	27
青森県	29.9	34
山形県	29.9	34
山口県	29.9	34
沖縄県	29.9	34
愛媛県	29.8	38
大分県	29.8	38
福岡県	29.7	40
和歌山県	29.7	40
長崎県	29.7	40
熊本県	29.7	40
鹿児島県	29.7	40
徳島県	29.6	45
佐賀県	29.6	45
宮崎県	29.5	47
全国	30.5	

● 平均婚姻年齢（初婚の夫）



平成22年の三重県の平均婚姻年齢（初婚の夫）は、30.0歳（全国は30.5歳）となっています。
 都道府県別では、東京都が最も高く、次いで神奈川県、千葉県となっています。

● グラフデータ

	東京	神奈川	三重	佐賀	宮崎
平均婚姻年齢 （初婚の夫）	31.8	31.3	30.0	29.6	29.5

【資料出所】

厚生労働省「人口動態統計」

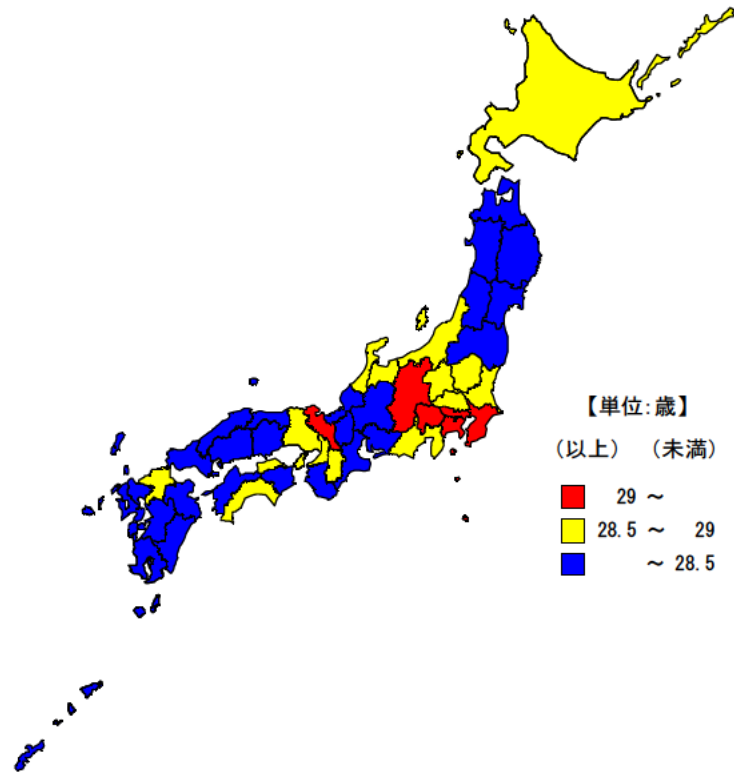
【備考】

結婚式をあげたときと同居を始めたときのうち早いほうの年齢による。

単位：歳

都道府県	平成22年	順位
東京都	29.9	1
神奈川県	29.4	2
京都府	29.2	3
千葉県	29.1	4
山梨県	29.0	5
長野県	29.0	5
埼玉県	28.9	7
大阪府	28.9	7
奈良県	28.9	7
北海道	28.7	10
富山県	28.7	10
石川県	28.7	10
兵庫県	28.7	10
高知県	28.7	10
福岡県	28.7	10
群馬県	28.6	16
新潟県	28.6	16
茨城県	28.5	18
栃木県	28.5	18
静岡県	28.5	18
香川県	28.5	18
宮城県	28.4	22
秋田県	28.4	22
福島県	28.4	22
愛知県	28.4	22
鳥取県	28.4	22
島根県	28.4	22
広島県	28.4	22
大分県	28.4	22
沖縄県	28.4	22
滋賀県	28.3	31
岡山県	28.3	31
徳島県	28.3	31
愛媛県	28.3	31
長崎県	28.3	31
熊本県	28.3	31
宮崎県	28.3	31
岩手県	28.2	38
岐阜県	28.2	38
三重県	28.2	38
和歌山県	28.2	38
山口県	28.2	38
佐賀県	28.2	38
鹿児島県	28.2	38
青森県	28.1	45
山形県	28.1	45
福島県	27.9	47
全国	28.8	

● 平均婚姻年齢（初婚の妻）



【単位：歳】
 (以上) (未満)
 ■ 29 ~
 ■ 28.5 ~ 29
 ■ ~ 28.5

平成22年の三重県の平均婚姻年齢（初婚の妻）は、28.2歳（全国は28.8歳）となっています。
 都道府県別では、東京都が最も高く、次いで神奈川県、京都府となっています。

● グラフデータ

	東京	神奈川	三重	山形	福島
平均婚姻年齢 （初婚の妻）	29.9	29.4	28.2	28.1	27.9

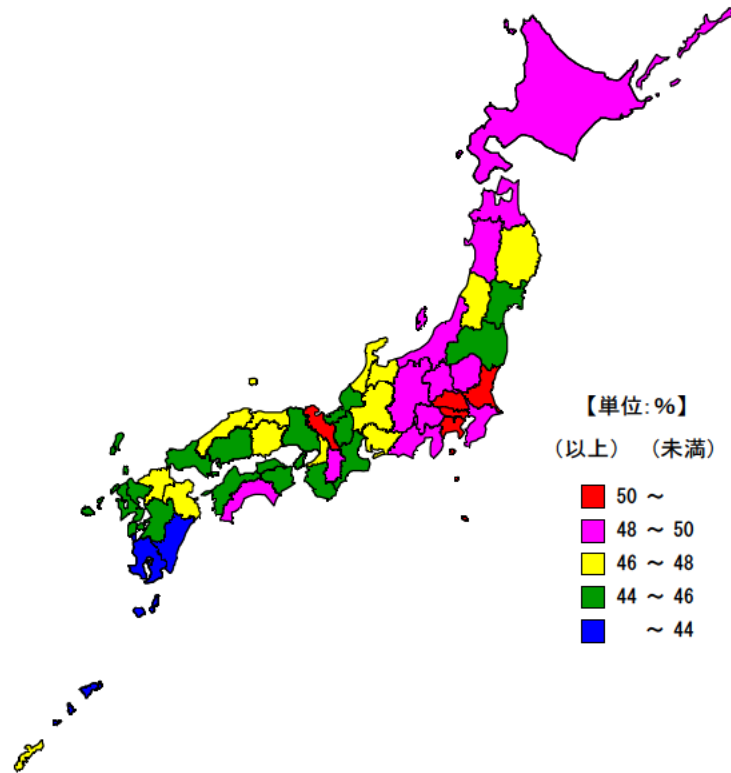
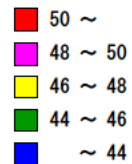
【資料出所】
 厚生労働省「人口動態統計」

【備考】
 結婚式をあげたときと同居を始めたときのうち早いほうの年齢による。

単位：％

都道府県	平成22年	順位
東京都	51.8	1
神奈川県	50.9	2
埼玉県	50.7	3
東京都	50.4	4
茨城県	50.1	5
千葉県	49.7	6
青森県	49.4	7
山梨県	49.3	8
栃木県	49.0	9
高知県	48.5	10
長野県	48.4	11
秋田県	48.3	12
静岡県	48.2	13
新潟県	48.2	14
北海道	48.1	15
群馬県	48.1	16
奈良県	48.0	17
大阪府	47.7	18
愛知県	47.7	19
鳥取県	47.5	20
富山県	47.5	21
岩手県	47.0	22
沖縄県	47.0	23
福岡県	46.8	24
岡山県	46.6	25
岐阜県	46.5	26
島根県	46.2	27
大分県	46.2	28
山形県	46.1	29
石川県	46.1	30
兵庫県	45.9	31
佐賀県	45.9	32
和歌山県	45.9	33
徳島県	45.8	34
福井県	45.4	35
山口県	45.4	36
三重県	45.4	37
福島県	45.4	38
滋賀県	45.3	39
長崎県	45.1	40
広島県	45.0	41
熊本県	44.8	42
愛媛県	44.7	43
宮城県	44.7	44
香川県	44.5	45
鹿児島県	43.6	46
宮崎県	42.3	47
全国	48.3	

● 未婚率（25～39歳）[男]

【単位：％】
（以上）（未満）

平成22年の三重県の未婚率（25～39歳）[男]は、45.4％（全国は48.3％）となっています。
都道府県別では、東京都が最も高く、次いで神奈川県、埼玉県となっています。
平均婚姻年齢の高い地域は、未婚率も高くなる傾向がみとれます。

● グラフデータ

単位：％

	東京	神奈川	三重	鹿児島	宮崎
未婚率 （25～39歳）[男]	51.8	50.9	45.4	43.6	42.3

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

未婚人口（25～39歳）[男]÷人口（25～39歳）[男]×100

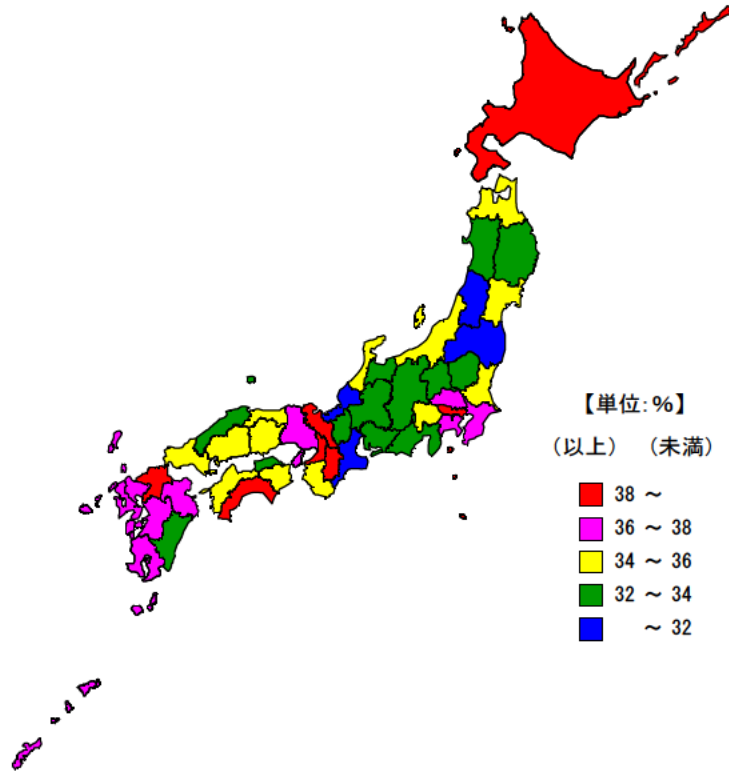
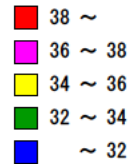
【備考】

調査期日 平成22年10月1日

単位：％

都道府県	平成22年	順位
東京都	43.1	1
京都府	40.8	2
福岡県	40.0	3
大阪府	39.2	4
奈良県	39.2	5
北海道	38.3	6
高知県	38.0	7
神奈川県	37.2	8
兵庫県	37.0	9
長崎県	36.9	10
千葉県	36.7	11
沖縄県	36.7	12
埼玉県	36.7	13
鹿児島県	36.6	14
大分県	36.5	15
熊本県	36.3	16
佐賀県	36.1	17
宮崎県	35.8	18
青森県	35.6	19
岡山県	35.1	20
和歌山県	35.1	21
愛媛県	34.9	22
新潟県	34.8	23
徳島県	34.6	24
鳥取県	34.5	25
茨城県	34.3	26
石川県	34.2	27
広島県	34.2	28
山梨県	34.2	29
山口県	34.0	30
秋田県	33.9	31
長野県	33.7	32
岩手県	33.5	33
宮城県	33.4	34
群馬県	33.3	35
香川県	33.2	36
栃木県	33.1	37
富山県	33.0	38
静岡県	32.8	39
愛知県	32.6	40
滋賀県	32.4	41
島根県	32.4	42
岐阜県	32.3	43
三重県	31.8	44
山形県	31.6	45
福島県	31.5	46
福島県	31.3	47
全国	36.7	

● 未婚率（25～39歳）[女]

【単位：％】
（以上）（未満）

平成22年の三重県の未婚率（25～39歳）[女]は、31.8％（全国は36.7％）で4番目に低い値となっています。

都道府県別では、東京都が最も高く、次いで京都府、福岡県となっています。最も低いのは福島県となっています。

男女の傾向をみると甲信越地方では、異なる動きが見られます。

● グラフデータ

単位：％

	東京	京都	三重	福井	福島
未婚率 (25～39歳)[女]	43.1	40.8	31.8	31.5	31.3

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査報告」

【算出方法】

未婚人口（25～39歳）[女]÷人口（25～39歳）[女]×100

【備考】

調査期日 平成22年10月1日